

総合



概況

主要指標がやや悪化、懸念は継続

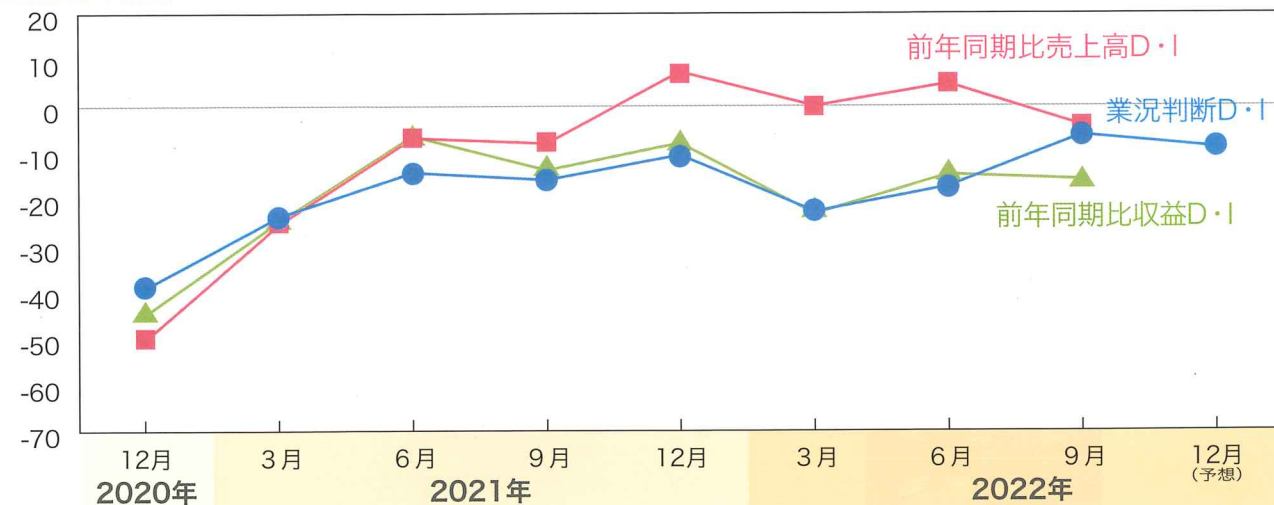
今期の業況判断指数(D・I値)は、△6.3と前期(4月~6月)より11.1ポイント改善したものの、マイナス圏が11期連続となりました。卸売・建設・不動産・運輸・農業で上昇、他の3業種では維持または下降となりました。売上高D・Iは△4.2と前期比9.0ポイント悪化。収益D・Iも△15.9と同1.1ポイント悪化しました。価格転嫁は製造業ではやや順調と思われませんが、他の業種・事業先毎ではバラツキが見られました。

	前年同期	前期	今期	見通し
業況D・I	△15.9	△17.4	△6.3	△9.0
売上高D・I	△8.0	4.8	△4.2	-
収益D・I	△13.8	△14.8	△15.9	-

来期の見通しについて

来期の予想業況判断指数(D・I値)は△9.0と今期実績比2.7ポイントの下降が見込まれます。業種別では、8業種中、製造業・運輸・農業で改善、不動産業は維持、残りの4業種はやや悪化の予想です。国の経済政策も、円安や地政学リスクが続き、先行きの懸念は続く見通しです。

主要指標の推移



前期比D・Iの推移

○販売価格D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	8.7	26.1	30.4	34.8
卸売	21.4	50.0	64.3	57.2
小売	5.5	40.0	49.1	34.5
サービス	3.3	30.0	20.0	13.4
建設	16.3	34.9	46.5	25.6
不動産	14.3	0.0	28.6	14.3
運輸	5.9	△5.9	23.5	29.4
農業	△14.8	11.1	14.8	18.5

○仕入価格D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	34.8	73.9	65.2	65.2
卸売	50.0	64.3	71.4	64.3
小売	16.4	52.7	58.2	50.9
サービス	10.0	66.7	66.7	53.3
建設	41.9	74.4	76.7	58.1
不動産	14.3	28.6	28.6	28.6
運輸	47.0	58.8	88.2	58.8
農業	18.5	66.7	74.1	59.3

※サービス業は料金価格、建設業は請負価格、運輸業は料金単価、農業は販売単価。

※製造業は原材料価格、サービス業・建設業は材料価格、運輸業は燃料価格、農業は生産資材等価格。

○人手過不足D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	△39.2	△21.7	△26.1	△21.7
卸売	△28.6	△35.7	△35.7	△28.6
小売	△25.5	△16.4	△23.6	△21.8
サービス	△16.7	△40.0	△40.0	△40.0
建設	△39.5	△41.9	△51.2	△53.5
不動産	-	0.0	0.0	0.0
運輸	△52.9	△52.9	△64.7	△64.7
農業	-	-	-	-

○残業時間D・I

	前年同期	前期	今期	見通し
製造	△13.1	△4.3	4.4	△8.7
卸売	14.3	-	0.0	7.1
小売	△9.1	△9.1	△10.9	△10.9
サービス	△6.7	13.4	10.0	10.0
建設	11.6	2.3	2.3	7.0
不動産	△14.3	-	-	-
運輸	5.9	△11.8	5.9	5.9
農業	-	-	-	-

○借入金の動き・難易度

(%)

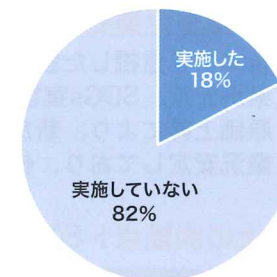
	借入金の実施		民間金融機関からの借入難易度			
	した	ある	容易	変わらない	難しい	該当なし
製造	30.4	13.0	4.3	73.9	13.0	8.8
卸売	35.7	14.3	28.6	71.4	-	-
小売	20.0	10.9	3.6	72.7	9.1	14.6
サービス	16.7	13.3	6.7	90.0	-	3.3
建設	20.9	20.9	34.9	55.8	7.0	2.3
不動産	14.3	14.3	-	85.7	-	14.3
運輸	17.6	11.8	17.6	58.8	11.8	11.8

○設備投資の動き

(%)

	前年同期	前期	今期	実施予定
製造	26.1	13.0	26.1	17.4
卸売	7.1	21.4	14.3	7.1
小売	9.1	12.7	7.3	10.9
サービス	6.7	23.3	16.7	13.3
建設	4.7	23.3	30.2	27.9
不動産	-	-	-	-
運輸	11.8	35.3	11.8	11.8
農業	11.1	11.1	11.1	14.8

2022年7月~9月期
設備投資



今後3ヶ月以内
設備投資計画

